

布施美術館名品展⑦

TESSAI TOMIOKA

愛した文 鉄斎が 文 人 画

ぶんじんが



平成 29 年

3月15日 **水** ▶ 5月7日 **日**

開館時間 午前9時～午後5時(ただし、入館は午後4時30分まで)

休館日 月・火曜日、祝日の翌日 入館料 大人 300円 / 小中学生 150円

※20名以上の団体は2割引、長浜市・米原市の小・中学生は無料。

※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳等をお持ちの方及びその付添いの方1名は無料。
(ただし、証明となる手帳等の提示が必要)

●主催 高月観音の里歴史民俗資料館 ●協力 一般財団法人 布施美術館



高月観音の里歴史民俗資料館

滋賀県長浜市高月町渡岸寺 229 Tel: 0749-85-2273 (FAX 共)

鉄齋が愛した文人画

布施美術館名品展⑦

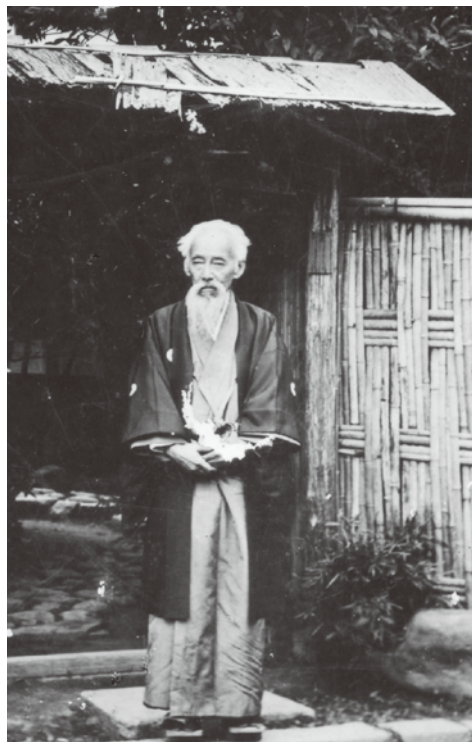
ぶんじんが

文人画の巨匠・富岡鉄齋

富岡鉄齋（一八三六〜一九二四）は、文人画が最後の輝きを放った明治・大正期に多くの名作を生み出したことから、最後の文人画家と呼ばれています。鉄齋は十代の頃から絵を学んだといわれ、八九歳で亡くなる直前まで作品制作を続けました。その制作数は、生涯で一萬点以上にのぼるといわれています。

布施美術館初代館長・布施巻太郎（一八八一〜一九七〇）は、明治十四年（一八八二）に七郷村唐川（長浜市高月町唐川）に生まれました。巻太郎は若い頃より文人画を愛し、敦賀で医者を務める傍ら、大正十一年（一九二二）に憧れであつた鉄齋との面会を果たし、二人の交流が始まります。

巻太郎が建てた布施美術館（長浜市高月町唐川）には、巻太郎が実際に鉄齋から受け取った作品や収集した三百点以上の鉄齋作品が所蔵されています。



▲京都東山・大雅堂門前の鉄齋（写真提供：清荒神清澄寺 鉄齋美術館）



▲草花図（部分）板倉槐堂筆



▲板倉槐堂（写真提供：靈山歴史館）



▶琵琶湖舟遊図 富岡鉄齋筆

浦上玉堂・板倉槐堂 布施美術館所蔵 珠玉の文人画コレクション

布施美術館は、鉄齋作品だけでなく、日本の文人画を大成したとされる池大雅（一七二三〜一七七六）や、細かい筆致と詩情的な雰囲気をもつ独特の山水画で知られる浦上玉堂（一七四五〜一八二〇）をはじめとする多くの文人画を所蔵しています。こうしたコレクションの中には、鉄齋が実際に所有していた浦上玉堂の作品や、鉄齋と交流のあつた坂田郡下坂中村（長浜市下坂中町）出身の幕末の志士・板倉槐堂（一八二二〜一八七九）と鉄齋の合作作品を含めた貴重な文人画がみられます。

こうした布施美術館所蔵の珠玉の文人画コレクションから、鉄齋自身と関わりがある作品や、鉄齋が評価し影響を受けた作品にスポットを当て、文人画の巨匠・富岡鉄齋が愛した文人画を紹介します。



涼炬 蘭亭之図 刻・青木木米作▶

講演会

「文人画の見方・鑑賞法」

講師 同志社大学 文学部 教授 河野道房氏
 日時 3月26日(日) 午後1時30分～
 会場 高月公民館 2階 第2研修室
 ●参加費 一般 500円
 (観音の里歴史民俗資料館友の会会員は無料)
 ※事前申込み不要

展示説明会

日時 3月18日(土) 午後1時30分～
 5月3日(祝) 午後1時30分～
 会場 高月観音の里歴史民俗資料館 2階展示室



平成 29年

3月15日(水) ▶ 5月7日(日)
 高月観音の里歴史民俗資料館

滋賀県長浜市高月町渡岸寺 229 TEL: 0749-85-2273 (FAX 共)
<http://www.city.nagahama.shiga.jp/section/takatsukirekimin/>